

所信

副会長 候補者

氏名 大原 利憲

前回の選挙では 理事に当選させていただきありがとうございました。しかしまだまだ経験不足で十分お役にたっているとは申せませんが 主にかん治療やその予防対策などの部門を担当をさせていただいています。 会計担当については月々の報告 決算 来年度の予算などについて事務のサポートを受けながら行っています 会員に出来るだけ公平になるよう最終的には赤字を出さないように運用に心がけています。健全に運営されているように思っていますが 透明性をもってやって行かないと国会で問題になっているような事にもなりかねませんので緊張感を持ってやっていきます。

今問題となっている事項の一つとして 働き方改革が取り上げられています 大変頭の痛い問題ですが期限が切られて施行されそうです 医師会としても結論を出さなければならない時期に来ています。 医師は生命を預かっており責任は当然大変大きいと考えなければなりません。 今までの経験からしても現場ではどうしても休めない時があります。それを乗り切るために他のスタッフに協力は求めますがどうしても無理な時もあると思います 全体の勤務時間の軽減はできますが メリハリをつけ 休む時にはリフレッシュ出来るように休むしかなのではと考えています。これも代役が可能な勤務医であればいいのですが 開業医の先生ではさらに難しいケースもあると思いますがやはり連携しかないのではないのでしょうか。医師の責任については今後とも世間の理解が進むように広報していくべきと考えています。

矯正医療についても少年院の医務官をしたりして以前より関与してきました 犯罪件数は減少気味ですが 社会の格差が増大しており又少年法の改定で18歳に引き下げられそうですし なんととっても高齢化があります。対応が追いついてないのが現状ですので医師会としてもサポートしていくべきと認識しています。

県医師会として医療政策については引き続き各方面に要求していきますが 求められる国の政策にも柔軟に対応して行かなければなりません しかし基本は地域から信頼される医師会になる必要があります 勤務医と開業医との連携が推進され、病々連携も一層推進され、岡山が元気になるようにと考えています。 今後とも地域の病院に勤務した経験やへき地医療への取り組みなどを生かし、医師会の発展に微力ながら努力していきますのでよろしくお願い申し上げます。